

水シンポジウム資料

令和元年8月22日

1. 葛巻町の概要
2. 自治会の取り組み

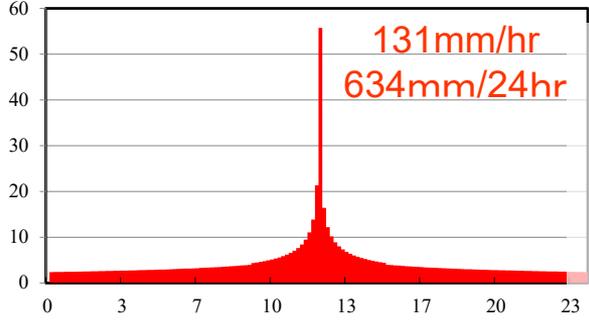
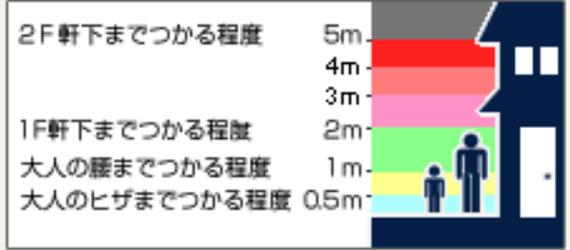
災害への備え
～台風18号の経験から～
東近江市葛巻自治会



葛巻町周辺の浸水予想状況 (地先の安全度マップ 200年確率降雨)



大雨が降った場合に想定される浸水深さ



**日野川・法教寺川に囲まれる
葛巻は水害リスクが高い地域**

葛巻町の台風歴史

明治29年の大洪水(1896年)



約50年～60年

台風第13号昭和28年(1953年)

台風第7号昭和34年(1959年)

伊勢湾台風昭和34年(1959年)



約50年～60年

台風18号平成25年(2013年)初 自主避難

台風19号平成29年(2017年)2回目自主避難

台風21号平成30年(2018年)風台風



葛巻町と水害について

○伊勢湾台風をはじめ

過去から多くの水害を経験

○日野川と法教寺川に囲まれて

水害の危険性が高い

○水害を知らない世代が増え、

先人の教えと知恵
が十分伝わっていない

葛巻町での水害対策の取り組み

- 滋賀県がすすめる「水害に強い地域づくり協議会」のモデル地区として様々な取り組みを実施

「ひとの生命を守る町づくり

防災の葛巻町」

を目指す取り組み

水害に備えるため

次のような取り組みを行いました

聞き取り調査

水害経験と備える知恵 (東近江市葛巻)



伝承・言い伝え



撮影:流域治水政策

【水点】

伊勢湾台風の水位痕が残っている。

▼葛巻のそのほかの伝承・言い伝え

- ・切石
- ・受け堤
- ・東沢砂川
- ・法教寺川右岸堤防
- ・霞堤
- ・石垣
- ・避難判断の目安場所
- ・堤防の見廻り

水害情報ホームページ

<http://www.pref.shiga.jp/h/ryuiki/hanran/index.html>

出前講座

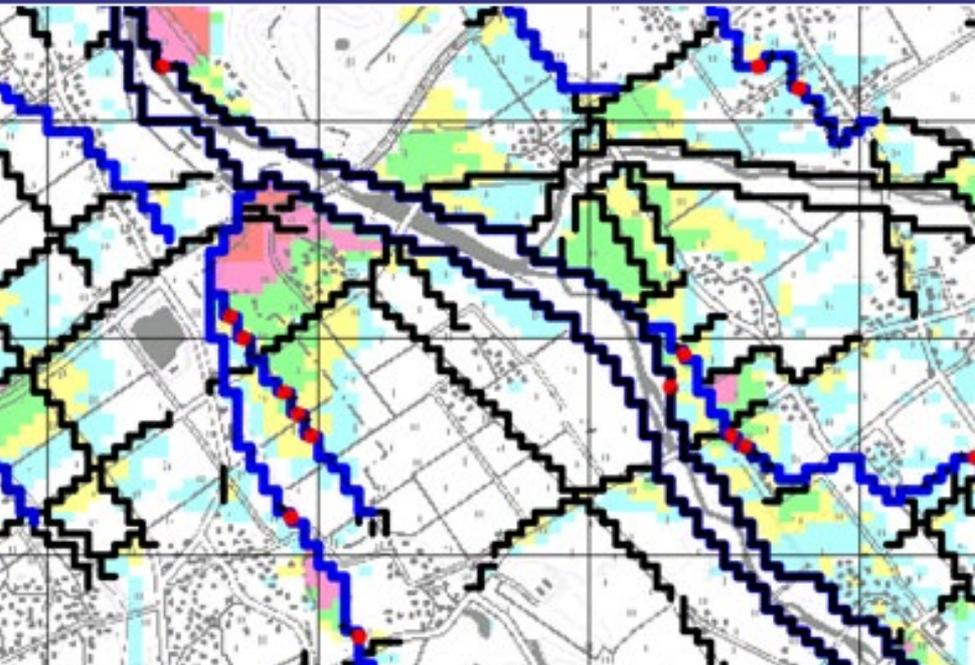


避難の際のポイント

- 車での避難は控える
- 運動靴と杖、ロープ
- 避難の時は隣に声かけ
- 普段から避難経路や避難場所を確認
- 逃げ遅れたら近くの高い建物に退避



葛巻周辺の浸水状況(15時間後)



図上訓練

被災地から学ぶ(ビデオ:水害発生その時)

五十嵐川破堤状況



真中森町等における情報伝達および高齢者等の避難支援に



避難訓練の実施・ 電柱への水位表示

設置された看板



平成24年10月の避難訓練



看板デザインの投票



葛巻町と水害について

平成25年9月15日・16日

台風18号が発生

- 日野川の増水、法教寺川の越水、
集落内田畑の浸水など
- 蒲生北小へ自主避難
自主的な水防活動(土のう積み)
- 後日振り返りと情報共有を実施

平成25年9月台風18号時の対応

水位現況図 **水位グラフ** 水位一覧表 水位経過表 水位状況表(主要) 水位状況表(その他)



▼ 安吉橋 水位グラフ

最新

2013年9月16日18時0分

表示



前頁

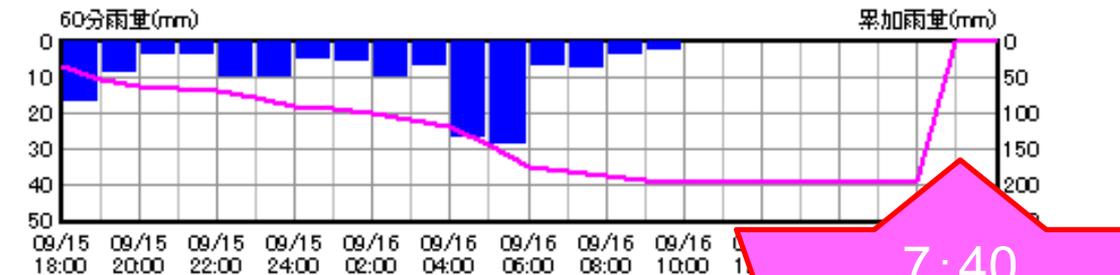
次頁

頁指定

観測時刻 2013年09月16日18時00分

表示間隔 60分 10分

表示幅 24時刻 48時刻 72時刻



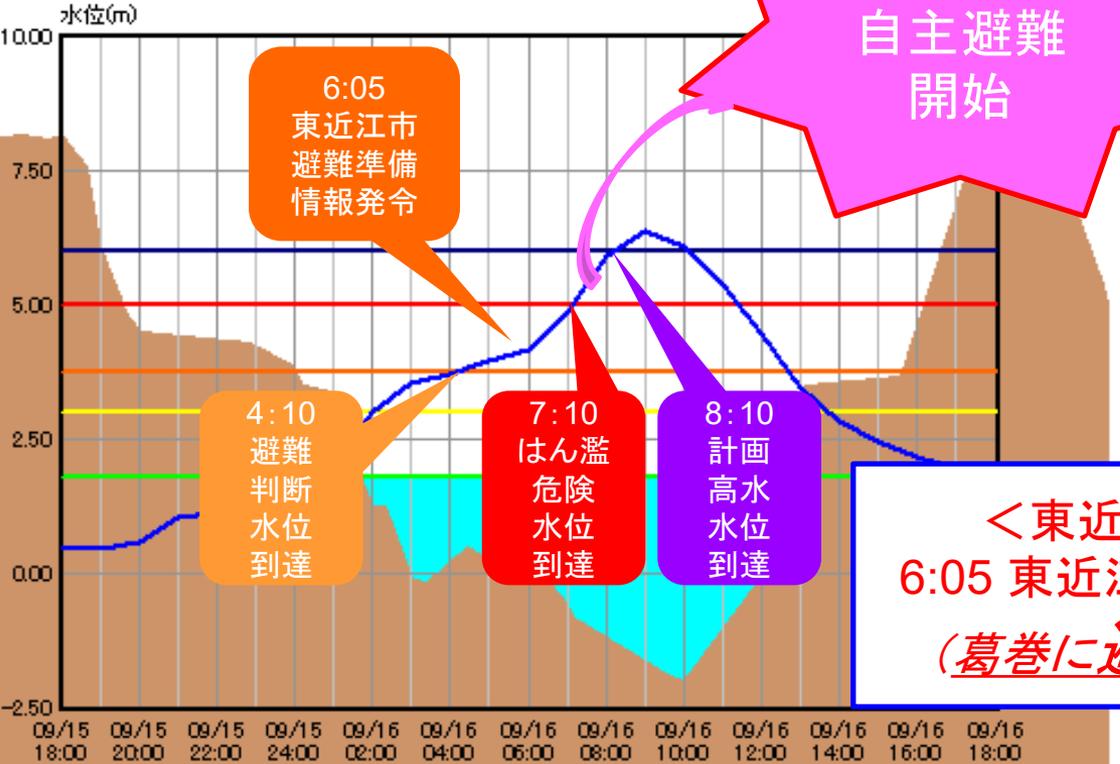
7:40
自主避難
開始

6:05
東近江市
避難準備
情報発令

4:10
避難
判断
水位
到達

7:10
はん濫
危険
水位
到達

8:10
計画
高水
水位
到達



凡例
■ 60分雨量
— 累加雨量

凡例
— 計画高水位 6.00m
— はん濫危険水位 5.00m
— 避難判断水位 3.75m

＜東近江市からの避難情報＞
6:05 東近江市全域に「避難準備」情報
(葛巻に避難勧告は発令されず)

水系/河川 淀川/日野川

周辺の浸水状況(7:40ごろ)



日野川の出水状況(9:00ごろ)



法教寺川で越水を確認(9月16日7:00ごろ)



普段の法教寺川

土のう作業状況

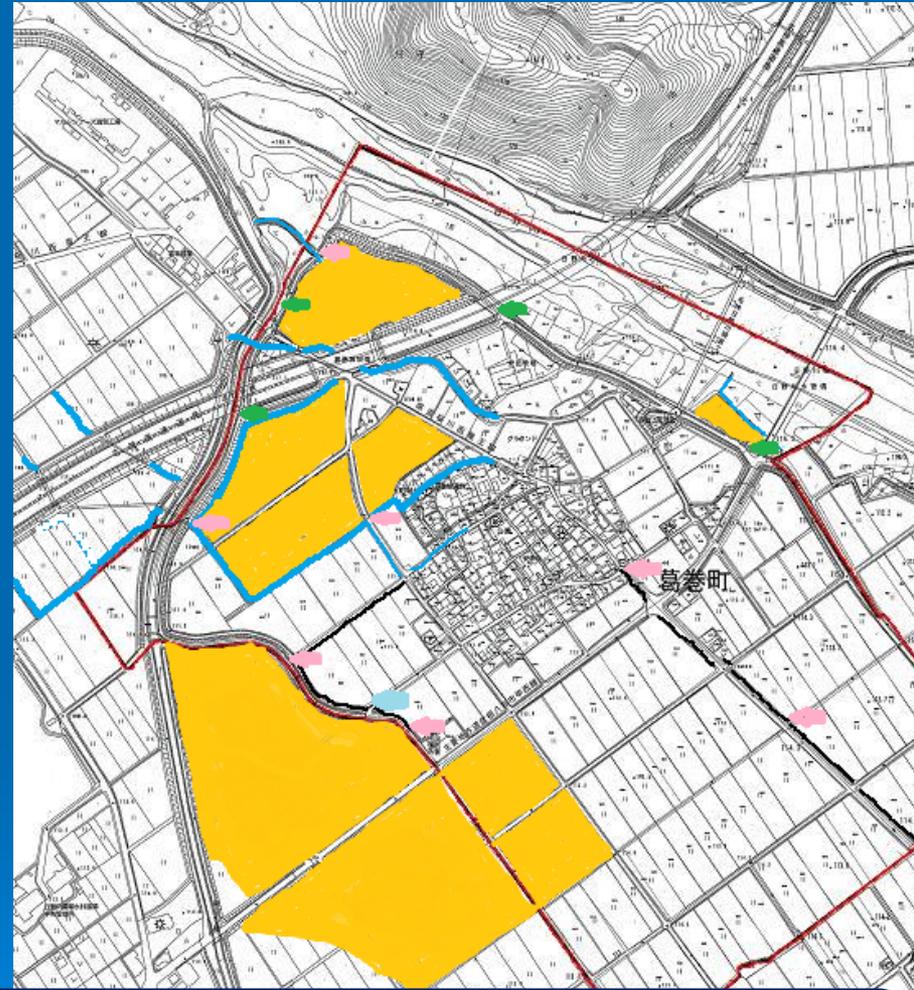


避難所(蒲生北小)での避難状況

避難者数 116名
(全住民190名)



平成25年9月台風18号時の課題



台風直後に「記憶と記録」を共有するため
振り返りを実施して、課題を整理

■「台風18号対応の振り返り」で出た主な意見■

- 土のう袋が少なく、コメリへ買いに行った。
- 避難所に必要な道具、食糧等の備蓄が必要。要援護者への配慮も必要。
- 車での避難は安全か。(日野川が切れて北小までいけない場合はどうするか、北小までは遠い)
- 避難を呼びかけても、「2階でよい」「家に大事なものがある」という思いから避難を行わない住民がいた。一方で早めの避難判断にたいして批判の声はなかった。
- 小学校の鍵が八日市で管理されており、避難所にすぐ入れなかった。
- 市と連携した避難訓練が必要。

台風18号時の対応を踏まえた 避難訓練の実施

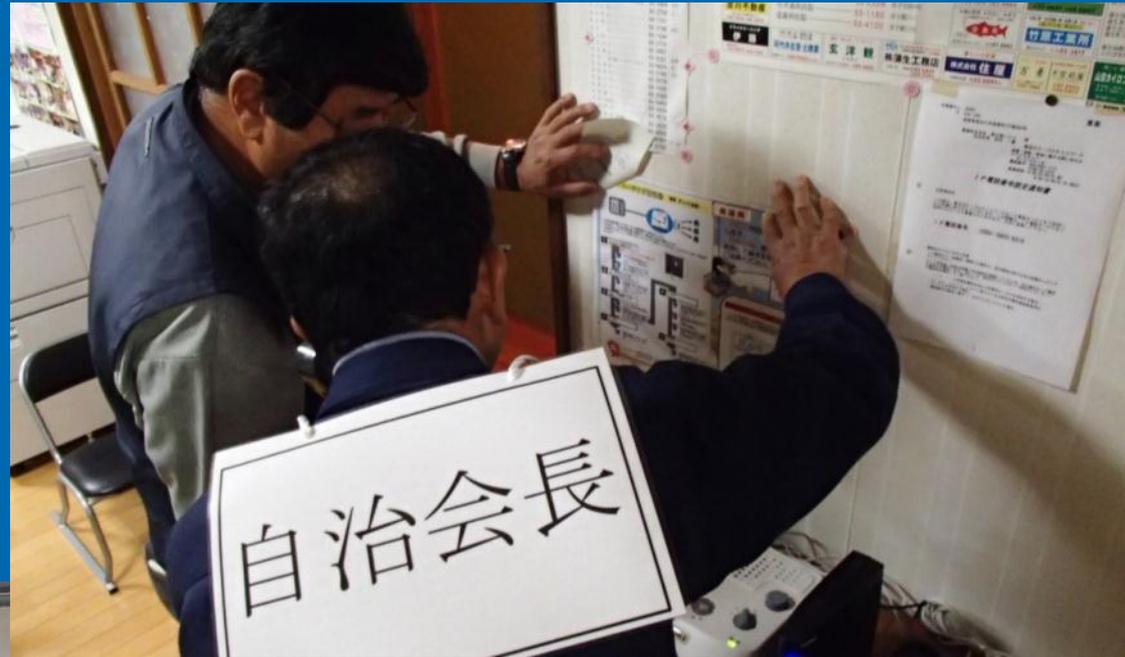


自警団によるパトロール

避難判断の目安となる日野川、法教寺川、
用排水路をパトロールして報告

台風18号時の対応を踏まえた避難訓練

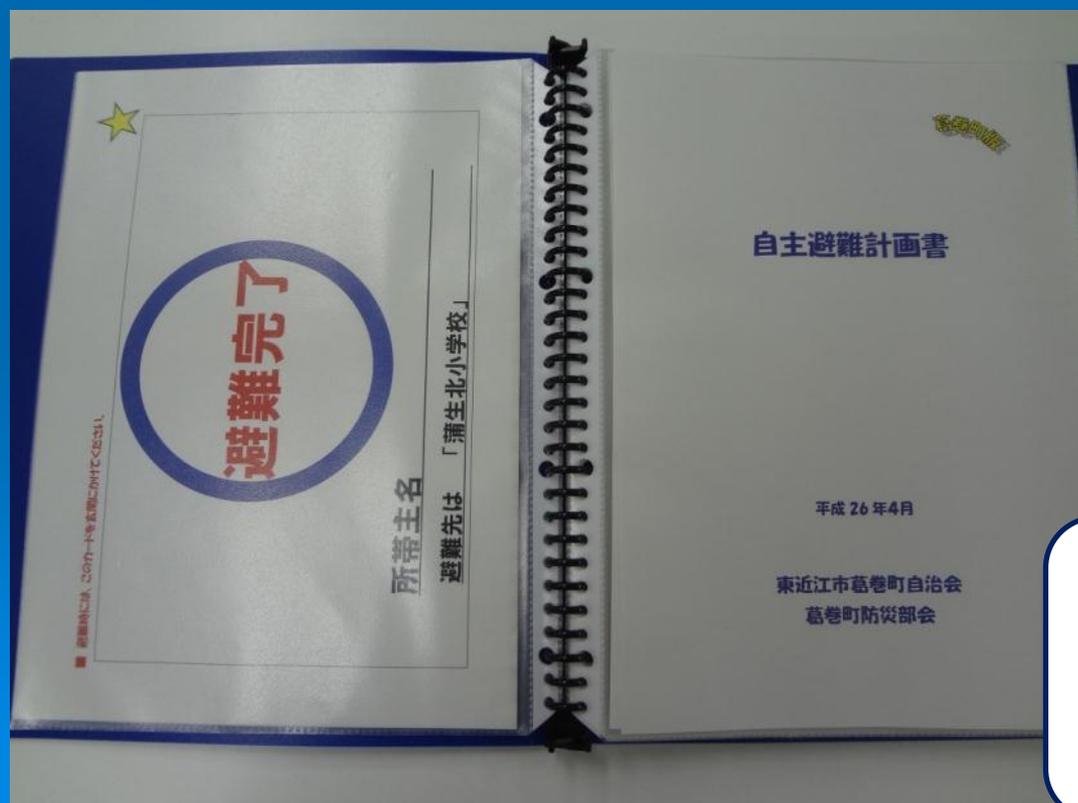
指定避難所(蒲生北小)は遠方であるため、集会所を一時避難場所として集合



避難完了カード

「葛巻町防災ファイル」の作成

- これまでの取り組み、台風対応、訓練等の課題の議論をもとに「葛巻防災ファイル」(自主避難計画書)を作成
- 避難に関する「ルール」を明記
- クリアブック形式にして、追加・更新に対応。
- 台風18号の記録、地域の水害体験談なども追加



避難情報、防災情報、組織分
担表、避難判断基準、水防資
材点検表、想定浸水図など

タイムラインを活用した避難訓練

➤ 防災ファイルの流れをよりわかりやすくするため

「誰が」「いつ」「どのように」行動するか

を時系列で整理した「タイムライン」を作成

➤ 行動を「自治会本部」「一般住民」「要支援者」ごとに整理

災害発生までの時間	気象情報・警報 想定される災害	訓練時刻	自治会本部 (役員、防災部会)	役割分担	一般住民の方	要支援者の方 (お年寄り、体の不自由な方等)	
前日 までに			【会 長】当日の組織体制(案)の計画 (役員が不足する平日を想定した組織)	会 長	代理者は交代できるよう対応準備	避難方法について組長に報告 (ハウスに避難 or 二階に避難)	
			【会 長】当日の組織体制表の作成 *1	会 長	雨量・水位情報の操作確認	要支援が必要な方は自己申告	
			訓練内容の確認、タイムラインの内容確認 *2	関係者全員	訓練内容の確認、タイムラインの内容確認	訓練内容の確認、命のバトンの確認	
(9時間前)	【安吉橋の水位】 水防団待機水位(1.8m) 到達	12:50~	【会 長】災害対策本部立ち上げ	会 長	防災部会	家族の所在確認。 自宅にて待機。外出は控える。	避難準備(すぐに避難できる状態に)
	【蒲生局の時間雨量】 20mm/h 程度(強い雨)	13:00~	【役 員】草の根ハウスに役員集合 本部体制・役割分担の確認 *1	会長以下 組長			
	【熊野(西明寺)局の時間雨量】 時間雨量 30mm/h 程度	13:15~	【現地班】パトロール箇所見回り ※日野川橋、神社 裏、名神北、法教寺川、10号排水、大溝一の樋 *3		現地班		
	【熊野(西明寺)局の累加雨量】 累加雨量 150mm 超過	13:15~	【組 長】要支援者に避難準備を指示		組 長	家族に要支援者がいる場合は避難準備	
(6時間前)	【安吉橋の水位】 はん濫注意水位(3.0m) 到達		【組 長】住民の所在確認		組 長	家族の所在情報報告	所在情報報告
	→ 避難準備情報の発令 【市・支所】避難所開設準備		【情報班】安吉橋水位情報の注視 安吉橋河川カメラの注視	会長以下 組長		要支援者と一緒に草の根ハウスへ移動 (困難な場合は要支援者と共に二階へ避難。 その後付添い)	草の根ハウスに一時避難開始 (困難な場合は家族と共に二階へ避難) ※二階避難の場合はその旨組長に連絡
	【蒲生局の時間雨量】 20mm/h 程度(強い雨)					家族で避難に向けた水食料等の持ち出し 準備(貴重品、簡単な食糧、飲み物、常備 薬、携帯電話、携帯ラジオ、懐中電灯、雨 具等防災グッズとしてリュックに入れる。)訓 練では持参しなくてよい。	※玄関に「避難完了カード」をかける。 戸締まりに充分注意する。
	【熊野(西明寺)局の累加雨量】 累加雨量 200mm 超過						
				【組 長】要支援者の状況確認		組 長	避難準備開始 (すぐに避難できる状態)
	【市・支所】避難所受入れ開始	13:20~	【会 長】支所・学校に避難所受入れ状況を確認	会 長			
			【避難経路確認班】 避難経路の安全確認		避難 経路班		

タイムラインを活用した避難訓練

- 防災ファイル、タイムラインを活用し、避難訓練のテーマを設定
- ①全員が訓練・避難の流れを理解する
→「タイムライン」を前日に配布
- ②役員体制が困難な平日を想定
→あえて不在役員を作り、代理者による訓練



防災まちづくり

- 「連携」「情報共有」「継続」
- 机上論ではなく行動
- 水害の経験と先人の知恵を伝承
- 楽しみながら防災

→防災を通じて顔の見える関係づくり

